



ホームのどこを歩けばいいの？

6日に1人がホームから転落！

視覚障害者のホーム転落は、年平均66件起きています。6日に1人の視覚障害者が、全国のどこかでホームから転落している計算になります。その内、年平均2人の方が亡くなっています。

ホームドアの設置がベスト、しかし・・・

2024年3月現在、全国の駅には19,919番線あり、ホームドアが整備されているのは約12%の2,484番線です。多くの駅にホームドアが普及するまでには何十年もかかる見込みです。

どういう状況で転落しているの？

国土交通省が実施した視覚障害者へのヒアリング調査によると、ホーム上を線路と平行に歩いている時の転落が63.5%を占めています。

どうして線路と平行に歩いて転落するの？

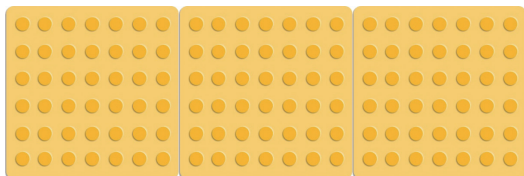
2つの理由があります。

- ① ホーム中央を歩行中、ホーム端に接近していることに気付かずに転落
ホーム中央には点字ブロックがありませんので、まっすぐ歩いているつもりでも斜めに歩いてしまうことがあります。スイカ割りや目をつむって泳いだら斜めに泳いでしまうのと似ています。
- ② 警告ブロック沿いを歩行中、柱を避けたり、人と接触し転落
※警告ブロックはホーム端から80cm～1mに敷設されています。

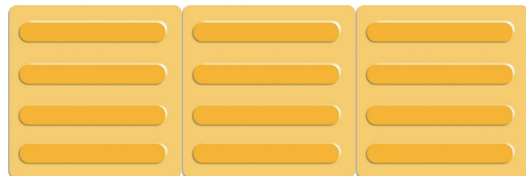


警告ブロックと誘導ブロックは意味が違う！

一言で点字ブロックといっても、点状と線状では意味が違います。点状警告ブロックは、「これより先に行ったら危険ですから停まってください。」という警告を意味します。一方、線状誘導ブロックは、「線の方向に歩いてください。」という移動の方向を示します。



▲点状警告ブロック



▲線状誘導ブロック

想定されていない視覚障害者の移動

ガイドラインでは、線状誘導ブロックは最寄りの車両ドアに誘導するだけで、電車に乗ることを想定しています。しかし、乗車駅と降車駅で階段の位置が異なればどちらかの駅でホーム上を歩かざるを得ません。

新所沢駅▶



ホーム中央に歩行動線を！

今や全国の駅の半数が無人駅です。ホームドアが整備されるまでの間、視覚障害者が一人でもホームを安全に移動できるよう、ホーム中央に触覚的な手がかりを設けてください!!!

護国寺駅▶



ホーム中央には売店等がありますが・・・

売店等があっても、その壁面をたどり、「コ」の字のように迂回して歩くことができます。団子の串のように誘導ブロックを敷設していただければ、ホームの端に近づくことなくホームを移動できますので、ヒヤリハットを減らすことができます。

